

臨時県議会
2月1日開催

新幹線新駅建設問う住民投票条例案

自民・公明や県民ネットの反対で否決

新幹線栗東新駅を建設するかどうか、「是非は住民投票で」と求めた直接請求を受けて臨時県議会が開催(1月31日～2月1日)されました。1日には採決が行われましたが、県民多数が求めた、「投票条例を求める」議案は、知事与党の自民党、公明党らの反対で否決されました。

新駅にない負担やめよ
7万5千県民の声を無視

税金のむだ遣いは許しません



新幹線新駅建設を「住民投票で是非を問え」と求めた住民投票条例の直接請求を審議した県議会は1日、本会議で日本共産党(2名)のほか県民ネット(3名)が賛成。自民党、公明党、県民ネットの多数が反対し否決となりました。野洲市選出の吉田清一県議は条例案に反対、青木愛子県議は賛成しました。

本会議で森茂樹県議は、「地元栗東市を始め多数の県民が新駅への負担に反対。ムダな駅舎建設費が全額地元負担は許されないう。いまこそ住民投票が必要」と主張しました。しかし知事は、「すでに県議会で審議し結論は出ている。住民投票はなじまない」として県民の願いに背を向

けた答弁に終始しました。

自民党は、「新駅が必要か」という根本的な疑問は持ち合わせていない」と述べ、知事を積極的に後押しする主張を展開。公明党も、「相乗効果をめざせ」と、県民に背を向けました。

県民と知事や自民党・公明党との間に大きなズレがあり、投票条例案は否決されましたが、「びわこ空港」の時も条例案は否決されましたが、この運動が世論と運動を大きく前進させ、空港建設を断念させました。日本共産党は、引き続き、みなさんと運動をすすめて、税金のむだ遣いをやめさせ、県民の暮らしを守る県政をめざします。

米産牛肉、検査体制ズサンと浮き彫り

輸入再開からわずか一ヶ月で再びアメリカ産牛肉が輸入禁止になりました。アメリカの検査体制のズサンさとともに、アメリカいいなりで食の安全性を無視した日本政府の責任は重大です。

野洲市議会でも、「日本と同水準の検査体制が確保されない限り輸入再開を行わないこと」と求めた意見書(日本共産党議員団の提案)を不採択にした豊政会(自民党)、公明党などの責任も問われています。

暮らしの相談、ご要望をお気軽に寄せください



医療・福祉、営業、教育など、暮らしの相談・ご意見をお気軽に寄せください。

小菅六雄
野並享子

(電話)589-4971 (FAX)589-6184 (ホームページ)http://www.yasusigi.net/~kosuga/
(電話)587-0985 (FAX)586-1102 (ホームページ)http://www.yasusigi.net/~nonami/

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年2月5日 68

3月定例会市議会は、3月3日(予定)から開催されます

新年度の野洲市予算を中心に審議される3月定例会市議会は、3月3日(予定)から開催されます。ご意見・ご要望をお寄せください。